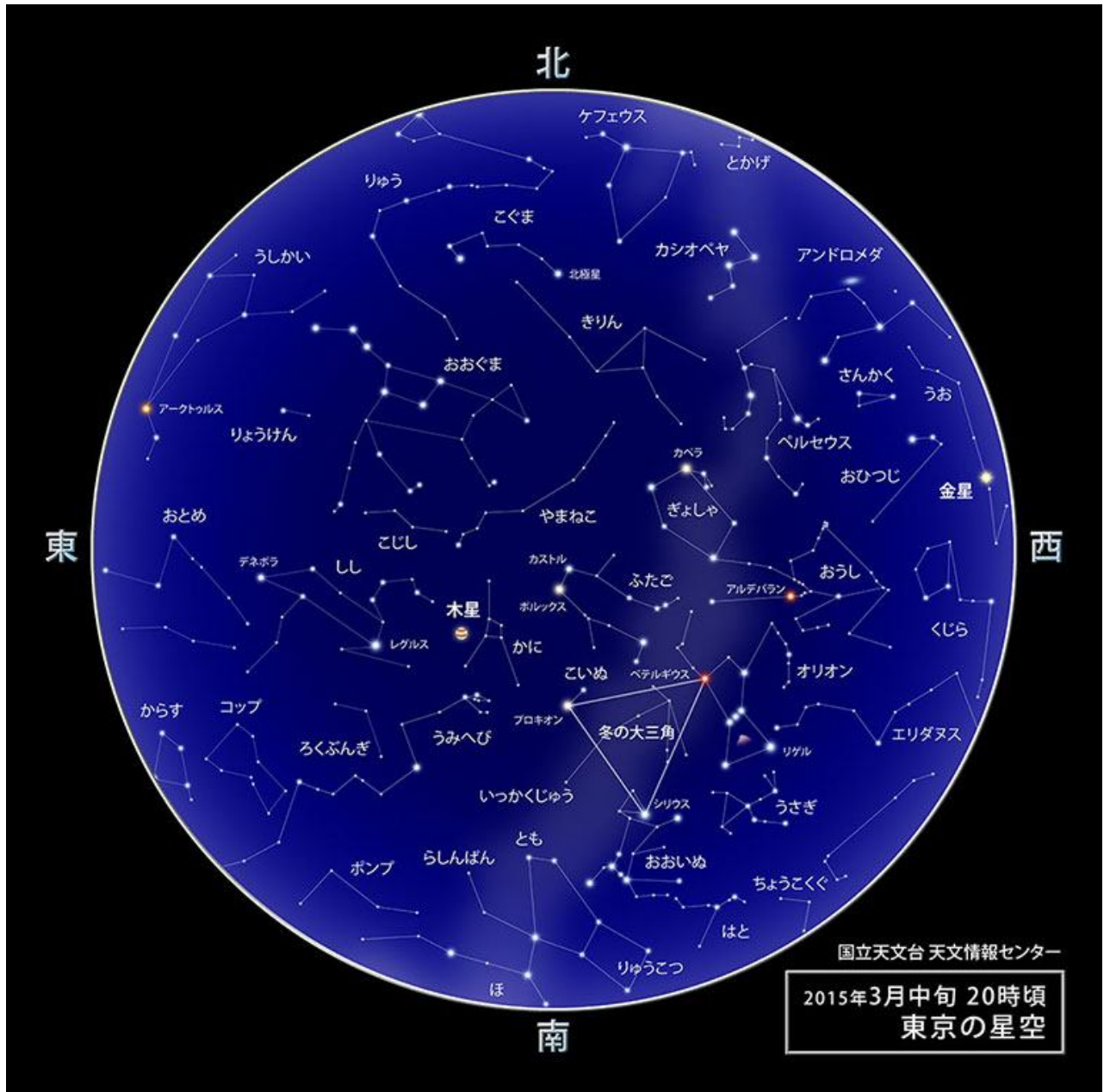


### 3月の星空



風はまだ冷たく身に沁みてくる今日この頃ですが、それでも一日一日と春の足音が聞こえて来ています、梅の花は咲き、桜の木にも未だ小さい蕾ではありますが後2週間程するとピンクの可憐な花が咲き始めます、もう春もそこまで来ているんですね。

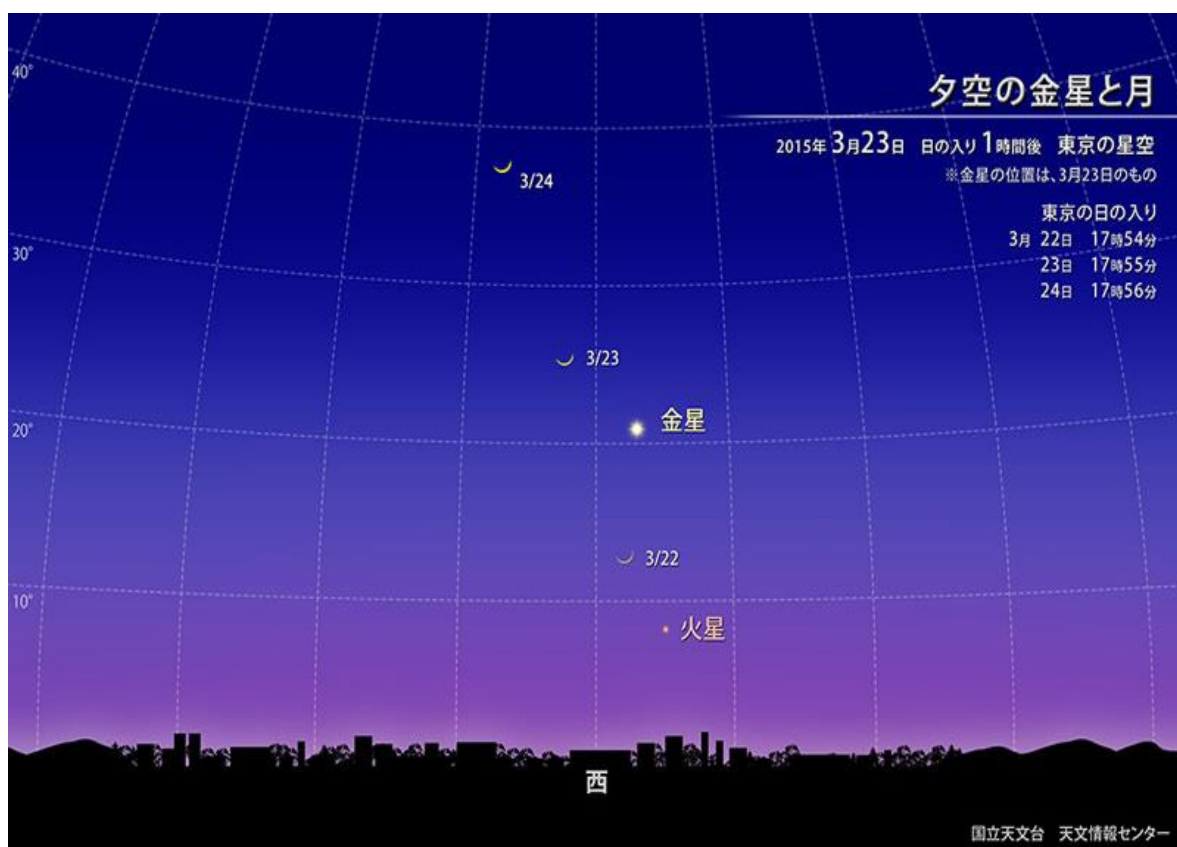
日が暮れる前に西の空をみてください、目が慣れてくるとまだ明るさの残る空に一番星が見えてきます、それが-4等級の明るさまでに成っている金星です、徐々に茜色に染まって来る夕焼けと地上の風景を重ねてみてください、なぜか懐かしさが込み上げてきますね。又南東の方角を観ると-2.5等級の明るさを誇る木星が力強く輝いて見えます、双眼鏡

で見ると近くに（かに座）がありその中にプレセペ星団という散開星団が見えます、数十の星達がバラバラとまとまって見えます、中には青・赤・オレンジの色をした星たちが見えてくるでしょう（少し大きな望遠鏡で見ると数百の星が見られます）、目で見るとボンヤリ雲の様に見えオペラグラスでは星の塊がはっきりしてきます、双眼鏡で見るのが最も美しく観られるそうです。

話を木星に戻すと口径が6センチ程の望遠鏡で木星の縞模様や4大衛星が見えますので是非機会があれば観察してみてください、さらに大口径の望遠鏡を使うと目玉の様な模様の大赤斑も見えて来る事でしょう。

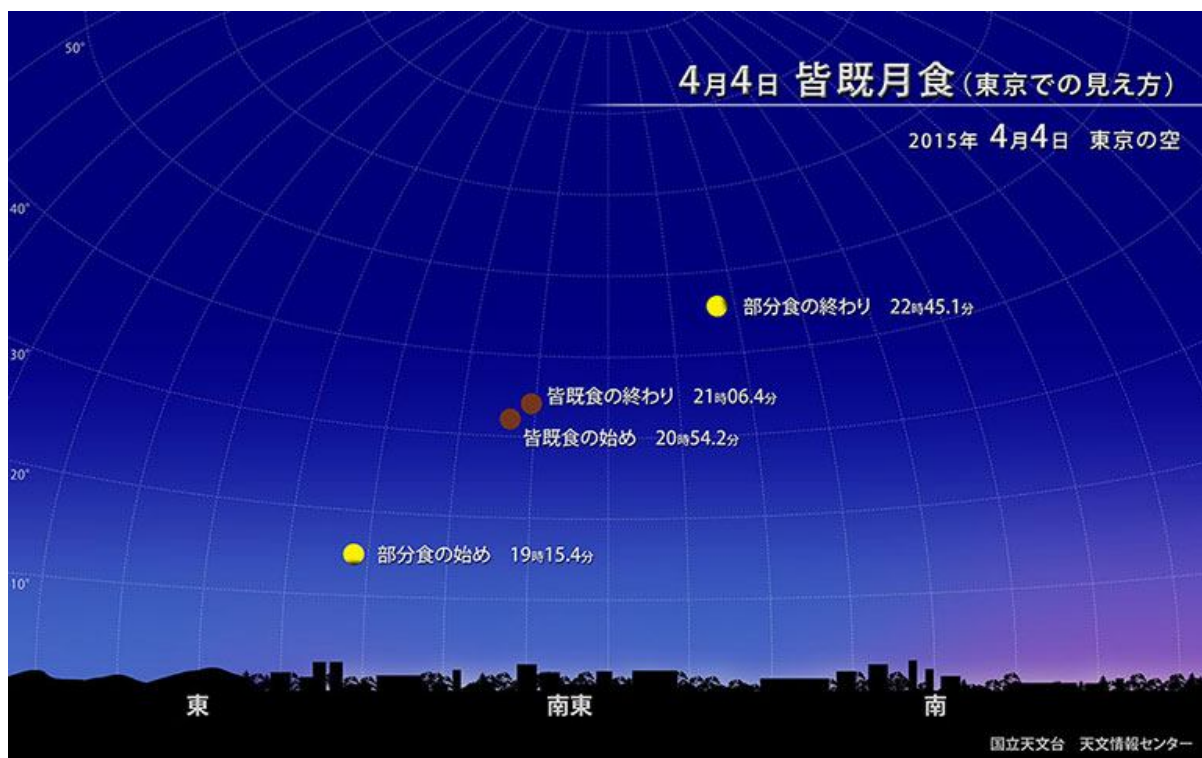
土星は0.3等級で輝いておりますが夜半頃に東の空から上がって来ますので、来月以降に見やすくなってまいります。

火星は夕方金星より地平線に近い所に有り尚1.3等級の明るさなので見つけ難いかも知れませんが、ただ3月の22日から24日に掛けて三日月の月と金星・火星が非常に近くに見えるので見つけやすくなります。是非観望してみてください、夕空の景色がまた格別ですよ。

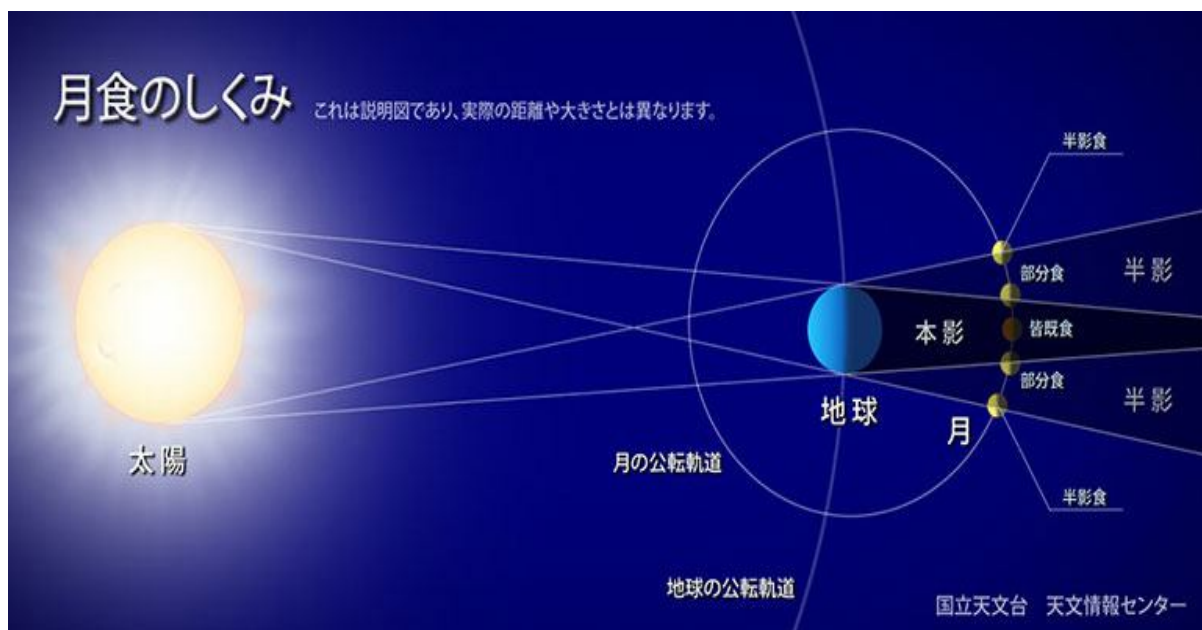


又、4月の頭に条件の良い観望に適した皆既月食があるので見ることをおすすめします。4月の4日午後7時15分から10時45分の間が食の時間です、その内8時54分から9時06分の間が皆既食になります又、赤銅色の不気味な色を見せてくれるのでしょうか？（比較的観望しやすい時間なので是非みてください。） 次回の皆既月食は2018年1

月31日とずいぶん先になります。



簡単な月食の説明を下に表しておきます。



この時季は季節が冬から春へと移り変わる様に星たちも冬の星座から春の星座にバトンタッチする季節の変わり目です。

西の空には冬の代表的な星座オリオン・おおいぬ座・こいぬ座・頭の上にはふたご座・お

うし座・ぎょしゃ座等々がまだまだ存在感を示して輝いていますが、東の空にはしし座・牛飼い座・おとめ座・大熊座の北斗七星等の春の星々が今とばかりに上がり始めてきました。

どの星座も比較的明るい星が有りますので是非、星座図や星座早見盤等を使用して一つづつ星座を覚えていかれたらどうでしょうか。

それともう一つ日本人宇宙飛行士も搭乗する国際宇宙ステーション（ISS）この人工衛星も比較的明るく出現する方角・時間が簡単に分かるので必見の価値あります。

地上約 400Km の所に建設された巨大な有人実験施設です、約 90分で地球を一周しながら実験・研究・観測をおこなっています、日本も実験棟（きぼう）などを作り世界 15カ国が共同で計画し利用しています、これだけ多くの国が参加して運営する事は今までに無くこれからの宇宙開発を一層前進させる事でしょう。

<http://kibo.tksc.jaxa.jp/letsview/visibility1/tokyo/index.html>

上記の URL に接続すると**宇宙航空研究開発機構 JAXA**（ジャクサ）の国際宇宙ステーション追跡サイトに繋がるのでそこで観測地をクリックすると日時・方角・高度等がすぐ分かります、反射光で見えるので観測出来る時間は朝方と夕方時の一日 2 度のチャンスがあります。（但し毎日見えるとはかぎりません。）

PS 望遠鏡等で見ると H 型をしたステーションがみえるそうです。

PS 今年の 5 月より日本人宇宙飛行士（**油井亀美也**）さんが長期滞在クルーとして搭乗予定に入っております。 楽しみですね。